

のうふく通信

【第2号】2023年10月発行

発行元：新潟市あぐりサポートセンター

農業を元気に！ 福祉を元気に！ 地域を元気に！

【農福連携】農業と福祉が連携することで、障がいがある方が、農業分野で活躍する事を通じて、農業経営の発展と共に、障がいがある方の自信や生きがいを創出し社会参画を実現しています



◆ご報告◆

市内福祉事業所に【農業との関わり】についてアンケートを行いました。
集計内容について一部になりますが、ご報告致します。

◇回答件数 133件



◇回答事業所のサービス内容について（重複回答あり）

・就労移行支援	17	・就労継続支援A型	16
・就労支援B型	70	・その他	44

◇農業との関りについての確認（全回答/133件）

・受託作業、生産活動、体験活動等を実施している	62件	(47%)
・実施はしていないが農業との関わる事に関心はある	36件	(27%)
・農業にかかわることに関心はない	35件	(26%)

◇以下①～③は複数選択の設問について、関心が高かった内容を報告致します。

【（）内は、全回答数に対する割合になります】

① 農福連携の現地見学として、一番関心が高かった項目

《選択項目数： 5項目 / 全回答数：158件》

・加工を行っている事業所の見学 52件 (33%)

② ご利用者の体験活動として、一番関心が高かった内容

《選択項目数： 5項目 / 全回答数：173件》

・余暇活動としての収穫体験 67件 (39%)

③ 農福連携に関する内容で、関心が高かった項目

《選択項目： 11項目 / 全回答数： 324件》

・障がい者が取り組みやすい農作業・取り組み方法 78件 (24%)

・農福連携における【工賃向上事例】 46件 (14%)

・農福連携における【地域活性事例】 40件 (12%)

◆お礼◆

お忙しい中アンケートにご協力頂き、誠にありがとうございました。貴重なご意見を多数頂くことができ、感謝しております。皆様から頂戴したご意見を今後に活かし、農業分野で障がいがある方の働く場が拡大していけるよう、今後も取り組んでいきたいと思っております。



～令和5年夏～

◆球根の掘り取り、調整作業◆

球根栽培を行っている農業者からの作業依頼があり、掘り取りと調整の作業を2事業所が行いました。6月初旬にチューリップの掘り取り作業が始まり、掘り取った球根は作業用ハウス内で乾燥をした後に調整作業を行い、7月下旬から出荷となります。



掘り取り作業は、大型機械で掘り起こした球根を手で拾い集めコンテナに入れます。その際に、土の中に残った球根がないかの確認も手で行います。掘り取りが終わった球根は数日間乾燥した後、出荷用の調整を行います。昨年秋に植えた球根が今年春に開花しますが、球根栽培なので花を摘み取り球根を成育させ、その後に掘り取ります。掘り取りをした1株には、複数の球根がついています。今年出荷できる大きな球根と、秋に再び畑に植えて生育させる球根があります。花を咲かせることが出来る球根に生育するまでには、年数（2～4年）が必要であり、小さな球根を毎年【植え付け⇒掘り取り乾燥】することを数年、繰り返して行うことで大きく成長していくそうです。



出荷できる状態に成長しても、掘り取り時期の天候等で病気になる腐敗してしまう場合もあるそうで、年数かけて栽培しても出荷前に、廃棄となるモノもあります。

★募集しています★

本紙面にて、事業所紹介を掲載したいと考えております。記載する内容については、ご希望を確認し決めます。農業との関わりの有無は問いません。《事業所アピール》《自主製品の紹介》に、本紙面をご利用ください。詳細等、お気軽にお問い合わせ下さい。

～しめ縄作り～

新潟市内で【しめ縄】製造している農業法人があります。稲の栽培から商品製造までを行い、市内で販売されている国産しめ縄のほとんどが、こちらで製造されているそうです。年末の販売に向けて正月明けから1年かけて、様々なサイズのしめ縄を、15名程の方々が手作りし、稲わらの青みを保てるよう管理し保管しています。



法人内での製造以外に、内職仕事として外部に依頼している作業もあり、内容は、出来上がったしめ縄につける【花飾りづくり】・極小型の製品【バラ締めづくり】になります。こちらの作業について、高齢化により作業継続が難しくなり後継者を探していた時に当センターが出会い、福祉事業所とつなぐ流れとなりました。今年春には、オンラインで作業説明会、その後に作業体験会を経て、現在7ヶ所が施設内作業として、各事業所の可能なペースで作業を進めています。小型のしめ縄【バラ締め】を、つくる作業については現在3ヶ所が作り方を覚えて練習を行っています。手を動かし、感覚で覚えるところが多い作業に



なるため練習が必要となりますが、『伝統技術を受け継ぐことにも意味深さを感じる』と、事業所内で練習を重ねているところもあります。

農福連携で出来上がった【しめ縄（バラ締め）】が店頭と並ぶ日も遠くないように思えます。



《お問い合わせ先》

新潟市あぐりサポートセンター

所在地：新潟市中央区八千代 1-3-1 新潟市総合福祉会館 1F

連絡先：(Tel) 025-256-8383【担当：佐藤】

(Mail) aguri@atago.or.jp

